

〔国際会議開催〕

申請者	奈良先端科学技術大学院大学 教授 清川 清	2155005
国際会議名称	The 25th International Conference on Artificial Reality and Telexistence	
開催期間	2015 年 10 月 28 日～10 月 30 日	
開催場所	京都市国際交流会館 (京都市左京区)	
申請者の役割	大会長	

概 要：

ICAT (International Conference on Artificial Reality and Telexistence) は人工現実感とテレプレゼンスに関する世界で最も歴史のある国際会議であり、今回が第 25 回となる。1991 年の東京開催以来、8 カ国で開催され国際的に大きく発展してきた。今回は第 20 回となる EGVE (Eurographics Symposium on Virtual Environments) と合同で開催された。会期は 2015 年 10 月 28 日～30 日、会場は京都市国際交流会館である。49 件の興味深い論文投稿があり、厳正なる査読を経て、25 件を採択した。また、ポスター 10 件、デモ 10 件の投稿があり、ポスター 11 件 (論文からの 3 件を含む)、デモ 8 件を採録した。また、明治大学の杉原厚吉氏、ブリストル大学の Sriram Subramanian 氏、筑波大学の岩田洋夫氏の 3 名に招待講演をいただいた。参加者は 86 名 (有料参加者 81 名、無料参加者 5 名) で学生アルバイト 4 名を含めて 90 名が来場した。うち外国人参加者は 9 カ国からの 28 名であった。VR 分野のキーパーソンが多数集まり、熱心な議論が展開された。詳しくはホームページ (<http://icat.vrsj.org/2015/>) を参照されたい。鮎鶴京都鴨川リゾートで行われたバンケットでは、舞妓の舞踊が披露されるなど大いに盛り上がり好評を博した。以上のように、ICAT-EGVE 2015 は成功裏に幕を閉じた。この場を借りて、助成をいただいた立石科学技術振興財団に感謝申し上げる。